

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

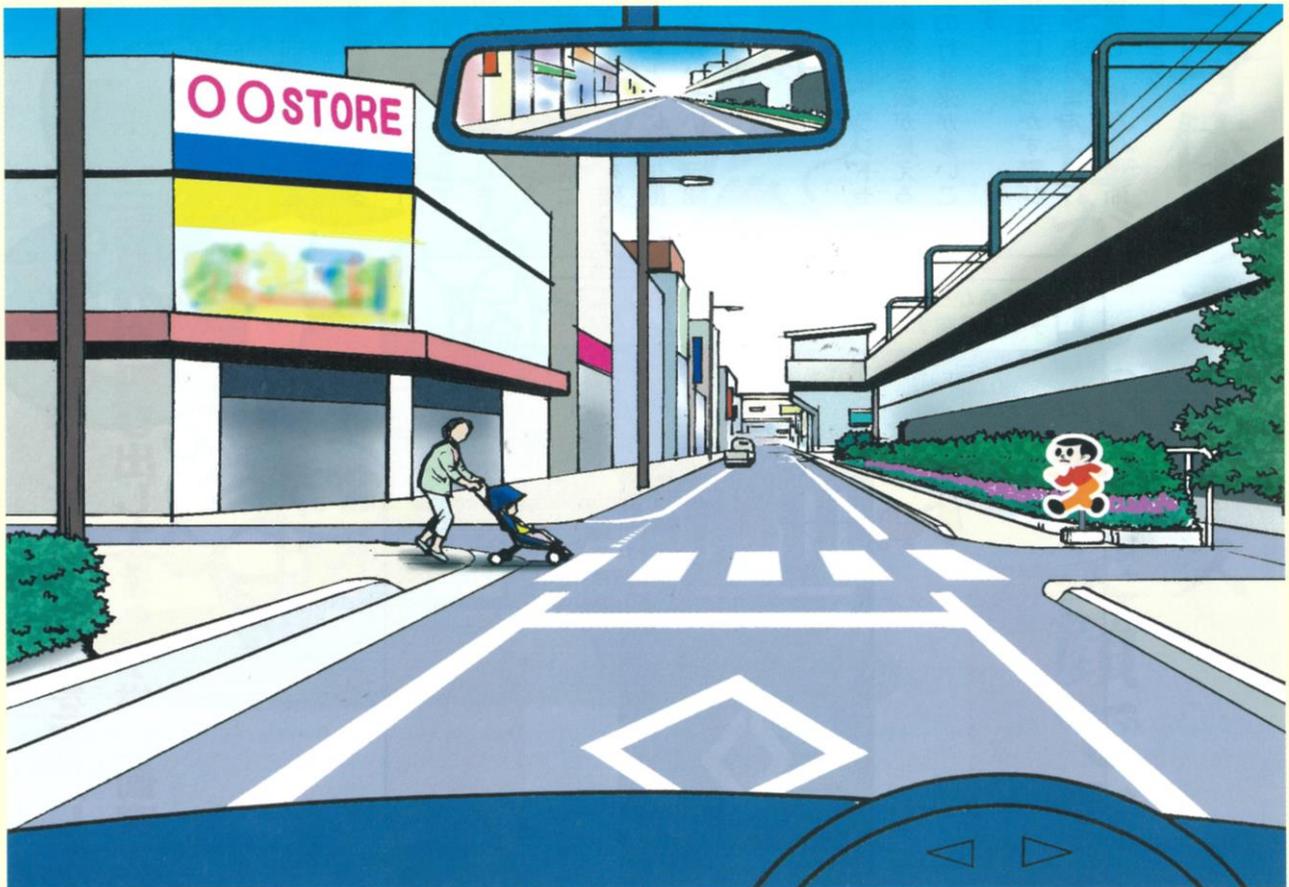
センターラインのない一方通行道路を走行しており、横断歩道に接近しています。横断歩道のそばにはベビーカーを押している歩行者がいます。

自車はこのまま横断歩道を通過したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

**Q** KIKEN YOCHI TEST  
あなたはどのような運転をしますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名

1

2

3



# 危険予知ポイント

- ① ベビーカーを押して横断歩道を横断してきた歩行者と衝突する。
- ② 交差点から飛び出してきた子供と衝突する。

横断歩道の手前で必ず一時停止する

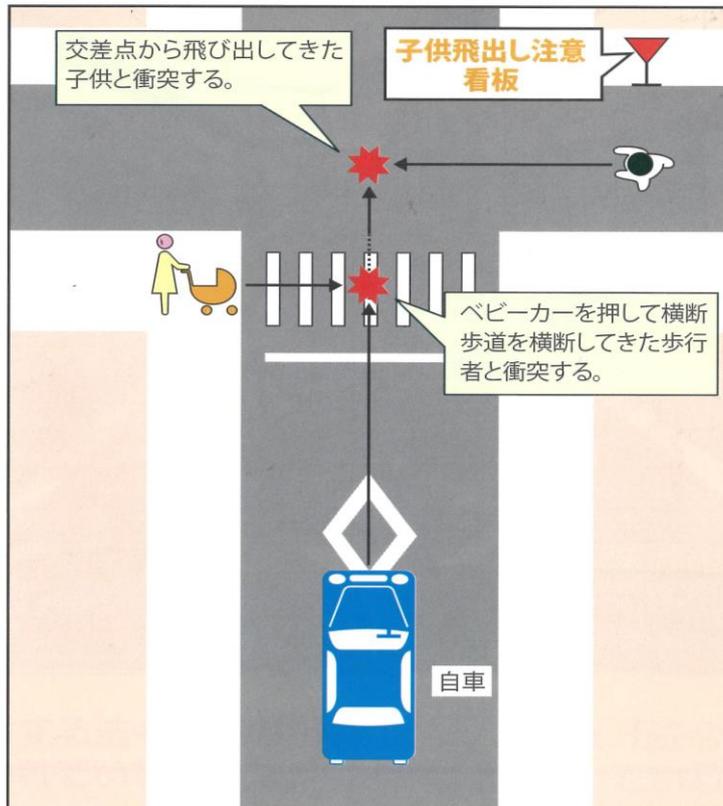
横断歩道を横断しようとする歩行者がいるときは、ドライバーは横断歩道の手前で一時停止して歩行者に道を譲らなければなりません。

信号機のない横断歩道の手前に標示されているダイヤモンドマークを確認したら減速するとともに、横断歩道周辺に歩行者がいないか確認することを習慣づけましょう。

## 子供の飛出しを予測する

横断歩道の右側には、ランドセルを背負った子供の看板が見えることから、子供の行き来が多いことが予想できます。

子供は車の接近に気づかず飛び出してくることがあります。徐行と安全確認を徹底し、慎重に横断歩道を通過しましょう。



横断歩道を横断しようとする歩行者がいるときは、一時停止を行い道を譲りましょう

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。